

= 出演者プロフィール =

あいた みずき 會田瑞樹(ヴィブラフォン/打楽器奏者、作曲家)

金属の音盤が敷き詰められた幻想的な響きを持つヴィブラフォンを中心に国内外で演奏活動を行っている。2010年日本現代音楽協会主催「競奏IX」第2位入賞と同時にデビュー以降、これまでに200作品以上の新作初演を手がけている。ソリストとして東京交響楽団、中国国家交響楽団、リトアニア・聖クリストファー室内合奏団との共演、3枚のアルバムは朝日新聞/レコード芸術特選盤などを獲得し高い評価を得た。2019年第10回JFC作曲賞入選を得るなど作曲家としてもその頭角を現し、2020年10月リトアニアにおいて自ら作曲を手掛けた弦楽合奏とヴィブラフォンのための協奏曲《Sutartinės》が世界初演。全世界に中継され絶賛を博した。11月3日、4枚目となるソロアルバム「いつか聞いたうた ヴィブラフォンで奏でる日本の叙情」をリリース。郡山女子大学短期大学部非常勤講師。(ホームページ <http://mizukiaita.tabigeinin.com>)



げきだん 劇団イイインド

2005年に結成。メンバーは伊原農(写真中央)・枝元萌(写真左)・はざまみゆき(写真右)、加藤健一事務所14期卒業。それぞれがTVドラマなどの映像作品への出演や他劇団に客演する実力派。座付きの脚本家、演出家はおらず、作品ごとに印象が変わる面白みもある。



いはらみのり 伊原農

1974年2月27日生まれ。千葉県出身。主な舞台出演作品は、新国立劇場「どん底」作:マクシム・ゴーリキー 演出:五戸真理枝(2019年)、加藤健一事務所「煙が目にしみる」作・演出:堤泰之(2020)ほか。TVCM「やぶきたブレンド」出演。

えだもと もえ 枝元萌

1976年6月15日生まれ。滋賀県出身。主な舞台作品、二兎社公演「兄帰る」作・演出:永井愛(2013年)、新国立劇場「君が人生の時」作:ウィリアム・サローヤン 演出:宮田慶子(2017年)、こまつ座「私はだれでしょう」作:井上ひさし 演出:栗山民也(2017年)ほか。2017年NHK連続テレビドラマ「わろてんか」万丈目歌子役。2019年読売演劇賞女優賞受賞。

はざまみゆき

1976年4月2日生まれ。神戸出身。主な舞台作品、にもめぶわ「マグノリアの花たち」作:ロバート・ハーリング 演出:菊地一浩(2017年)、楽天団「ケーキマン」作:ロバート・J・メリット 演出:和田喜夫、加藤健一事務所vol.103「Out of Order」演出:堤泰之ほか。



たまだ たき 玉田 多紀(造形作家)

1983年兵庫県生まれ。2007年多摩美術大学造形表現学部造形学科卒業。完全な再生技術で生み出される現代を象徴する素材・ダンボールを使い「新たな再生」というコンセプトで魂を吹き込むように生き物を制作している。国内外の展覧会、TVメディアやワークショップでも積極的に活動。

ヨコハママートライフ・芸術創造特別支援事業

みなさんのまちの図書館が劇場に変身

テアトル図書館へようこそ!



打楽器奏者1名(ヴィブラフォン)とプロの舞台俳優2名が、きむらゆういち作『あらしのよるに』『あるはれたひに』(講談社刊)の抜粋版を上演します。みなさんにも森や嵐、草がそよぐ音などをご自分の体を使って表現し、作品に参加していただきます。いつもの図書館が劇場になる“テアトル図書館”。演劇や打楽器、そして表現することの楽しさを体験しましょう!

プログラム

緑図書館司書による「図書館ガイド&ミニブックトーク」(10分間)

○出演者の自己紹介と打楽器(ヴィブラフォン)の演奏(5分間)

○音作りワークショップ(10分間)

みんなの身体を楽器に!手をこすったり、叩いたりして物語に出て来る場面の音を作ってみましょう!

○リハーサル(10分間)

みんなで作った音を物語の場面に合わせてみましょう!

<休憩5分間>

○「あらしのよるに」上演!(15分間)



日時………2020年12月5日(土) 13:00-14:00(12:40受付開始) 事前に予約してくださいね!

会場………横浜市緑図書館・会議室

きむらゆういち作

上演作品……「あらしのよるに」「あるはれたひに」(講談社)

定員・対象…15名(子どもはもちろん大人もどうぞ!)

参加費………無料

出演者は玉田さんが制作する帽子をかぶるよ。どんなかな?お楽しみに!



會田さんとヴィブラフォン!

【お申込み方法について】

<申込み> 2020年11月12日(木)9:30から、横浜市緑図書館の窓口または電話にてお申込みください。

<住所> 〒226-0025横浜市緑区十日市場町825-1 <TEL>045-985-6331

①申込者氏名 ②日中連絡の取れる電話番号 ③記録写真や動画配信のご協力可否をお尋ねします

※申込みにあたり、裏面の【お申込み前にお読みください】をご確認ください。

※申込み後にご来場を取りやめる場合は、必ずご連絡ください。

※申込みいただいた個人情報は、横浜市立図書館と株式会社横浜メディアアドで共有します。事業の目的以外には使用しません。

※新型コロナウイルス感染拡大等のため公演が中止になった場合は、参加者の皆様にお電話でお知らせいたします。

【お申込み前にお読みください】

① YouTubeでの動画配信・アンケート等へのご協力のお願い

「テアトル図書館へようこそ!」事業は、横浜市芸術文化振興財団と横浜市から助成を受け実施いたします。皆さんが身近な場所で芸術に触れ合うことで、どんな変化が生まれるのか?また、本事業の効果はあったのか?成果観測のために写真や動画で記録・分析し、今後の芸術文化振興に役立てます。アンケートは上演の前後でご記入いただきます。また、他会場の参加者たちと経験を共有したり、参加出来なかった方に皆さんの活動の様子をご覧いただけるように録画した動画の一部を「テアトル図書館へようこそ!」YouTubeチャンネルにて配信いたします。なお、記録写真や動画配信を望まれない方には、映らない範囲のお席にご案内します。予約申込み時に、その旨をお伝えください。

② ご来場時のお願い

- ・37.5度以上の発熱や咳などの体調不良がある場合は、ご参加をお控えください。
- ・入場時に、非接触型体温計で検温します。
- ・入場時 退場時に、手指のアルコール消毒をしていただきます。
- ・マスクは入場時から退場時まで続けてご着用ください。
- ・お子さまと最前列にお座りになるお客様にはフェイスシールドを着用していただきます。
※フェイスシールドは配布します。また、使用後に回収し、廃棄いたします。

お客様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解・ご協力のほど、お願い申し上げます。

③ 新型コロナウイルス感染症防止対策

- ・お客様が触れる箇所をアルコール消毒します。
- ・出演者とお客様の間に、2メートル以上間隔を空けます。
- ・当日、出演者・スタッフの体調が優れない場合は代役を立てます。
- ・出演者、スタッフは新型コロナウイルス接触確認アプリ「ココア (cocoa)」に登録します。
- ・出演者は、フェイスシールドと透明マスクを着用します。

「テアトル図書館へようこそ!」とは…?

テアトルとは、フランス語で「劇場」という意味です。劇場と図書館って別々の場所ですよね?でも、劇場で音楽や演劇やダンスをやってみよう!と考えた時、劇場スタッフは図書館へ出かけ、いろいろと調べものを行います。図書館と劇場はつながりがあるのです。その『つながり』を実際にみなさんにお見せしたら…「お話しを音楽やお芝居で表現するって楽しいな。わたしもやってみようかな?」「劇場って面白そうなことをしている場所なんだ。行ってみようかな?」なんて、『芸術(表現すること)』の面白さを感じていただけるのでは?と考え、「劇場」が、みんなのまちの図書館へお引っ越しします!どうぞ、よろしく申し上げます。



みなさんに「テアトル図書館へようこそ!」をよりお楽しみいただくため、11月からYouTubeチャンネルを開設します!玉田さんの制作、役者さんの稽古、會田さんの作曲しているところなどがご覧いただけます。他の図書館の音楽ワークショップの様子もご覧いただけますよ。アライグマのKANACK君がナビゲートします!

「テアトル図書館へようこそ!」
Youtubeチャンネルはこちら!



「テアトル図書館へようこそ!」出演者・スタッフ紹介

出演……會田瑞樹(打楽器奏者)、伊原農・はざまみゆき(劇団ハイランド)

演奏助手…櫻井音斗

構成・演出…齊藤実雪(かなっくホール)

主催 株式会社横浜メディアアド

共催 横浜市立図書館

助成 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、横浜市



Illustration/イワタアスカ



緑図書館は25周年を迎えました!

緑図書館は、赤ちゃんから大人まで幅広い世代や地域のさまざまな人たちに親しまれています。「わらべうたや絵本の読み聞かせを学ぶためのオリジナルDVD」や「CDブック」「年齢別絵本セット」など、独自のサービスもご用意し、みなさんの読書活動を応援しています。今回は「横浜市神奈川区民文化センターかなっくホール」とのコラボレーションで、緑図書館が劇場に変身(?)しますよ。お楽しみに!

〈アクセス〉JR横浜線「十日市場駅」南口から徒歩4分

